

## 次年度会長決定

### 秋里武信 次年度会長プロフィール

【所属企業・役職】水道屋あきさと 代表

【入会年度】平成21年度(第35期・平成22年1月入会)

【中央会経歴】平成24年度副委員長/平成25年度委員長/  
平成26年度専務理事/平成27年度県出向理事/  
平成28年度副会長/平成29年度副会長



この度、鳥取県西部中小企業青年中央会 第44期会長のご承認をいただきました秋里武信でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

平成22年1月に入会させていただき、第35期増井会長よりバッジを頂戴してから8年、経験の全てが自己研鑽に繋がると信じ、我武者羅に中央会生活を送って参りました。

その中で数多くのOB様・会員の皆様から学び、また助けていただきました。そして支えていただき、励ましていただきました。三輪会長より次年度会長の話を頂戴した時、『自分に中央会の会長職が務まるのだろうか?』という不安しかありませんでしたが、『最終年度にもかかわらずお声掛けいただいたという事は、それはまた何かしらの意味があるのではないか?』『自分を育ててくれた中央会に少しでもお返しができる』と考え、お受けする決断を致しました。

それから約2か月間、『歴史と伝統ある中央会の会長職という重圧に何度も押し潰されそうになりましたが、2月15日の臨時総会にて会員皆様からの『異議なし!』声に背中を押され、今は覚悟を決め、新たなスタートに向け一所懸命に準備を進めていく所存であります。

来期は、通常の活動に加え45周年の準備も始まります。会員一丸となり、43年の歩みを決して止めることなく、更に力強い一歩を踏み出し、次代に繋がる活動が出来ればと思いますので、何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、第43期の活動も終盤に差し掛かり、全会員が三輪年度を盛り上げようと頑張っております。引き続きのご理解とご協力も併せてお願いいたします。

## 次年度県会長候補決定

### 濱田修 次年度県会長候補プロフィール

【所属企業・役職】株式会社 ホクシン 代表取締役社長

【入会年度】平成16年度(第30期・平成17年3月入会)

【中央会経歴】平成22年度副委員長/平成24年度委員長/  
平成26年度副会長/平成28年度副会長/平成29年度監事



この度、次年度の県会長候補として指名推薦を頂きました濱田修です。三輪会長より、このような大役の声を掛けて頂き、大変光栄であると同時に恐縮も致しますし、当然ながら不安もあります。何分、県出向の役職をした経験がありませんので、分からないことも多いと思うのですが、西部そして県の会員の皆様にご承認頂いた暁には、良い意味での西部らしさを出しながらも東部、中部の県役員の方々と協調してともに活動を進め、皆様にとってできるだけ実りのある事業を展開していかなければならないと思っています。もちろん、それらは私一人では成し得ることができませんし、皆様方のご協力がないと色々なことが立ち行きません。

まずは地区の活動が基本だということはあると思いますが、県には他地区との交流など県ならではの広がり、良さがあります。とは言っても、会員の皆様に県の事業にご参加頂かないことには何もできません。全ては正式にご承認を得てからの事にはなりますが、西部を代表してこの職に就くという自負をもって私なりに精一杯励んでいく所存ですので、どうぞ宜しくお願い致します。

# 2月例会開催

## 深刻な労働者不足 若手経済人が模索する人材確保の手法『魅力的で働きたい会社』

### 【センスを磨くためには】

平成30年2月15日(木) 米子市福祉保健総合センターふれあいの里 1階大会議室にて2月例会(担当:政治行政委員会)が開催された。

冒頭の挨拶にて三輪会長は「センスという言葉があるが、調べてみると『違いが分かる』という意味であった。違いが分かるためには基本・王道・本質といったものを知っている必要がある。センスは努力で様々な事例に触れることで後天的に身に付けることができるものではないかと思う。人材確保は経営の重要な部分であり、センスが問われるが、本例会においても本質の部分をおさえた上で人材確保のための手法を学んで欲しい」と述べた。



適用範囲などを紹介した。自身や家族、社員の健康や医療、それに対応する保険といったものは会員全員にとって身近な問題であり、興味深い内容であった。

### 【労働者が働きたいと思う会社とは】

本例会は「第1部:優秀な人材を確保する手法紹介」「第2部:県内の雇用状況と労働者確保の為の行政施策」の2部構成となっており、第1部においては、政治行政委員会メンバーが人手不足に悩む架空の建設会社の幹部社員役となり、人手不足解消を図るために会社求人PRを行った。対して例会参加者が求職者の立場となり「この会社で働きたいと思うか? 否か?」理由を含めて発表した。各所にネタを交えて話が展開され、そのストーリーや設定に成功事例を上手く盛り込み紹介



した。各手法の効果を会員に楽しくかつ深く実感させるものであり、人材確保に向けてどのような策があるのか考える場となった。



続いて第2部においては、鳥取県の雇用状況の現状、県立ハローワークなど雇用問題に対する県の取り組みが紹介され、行政の施策をどのように活用することができるかを学んだ。

最後にまとめとして、橋本委員長は自身の経験をふまえながら「県内にどんな企業があるのか知られていないということが問題の根底にあるのではないかと思う。鳥取県の将来担う若者に、鳥取県でもこんな仕事ができる、鳥取県だからこんな仕事ができるということを伝えていくのが我々の役目である」と語り、続いて福山副会長が「若手経済人として中小企業の発展を図るために何ができるのか改めて考えるきっかけとして頂きたい」と総括し、会を締めくくった。



(記事:小坂)

### 【会長・県会長候補可決承認】



本例会では高塚副会長が議長のもと臨時総会が行われ、秋里副会長が次年度会長として、濱田監事が次年度県会長候補としてそれぞれ指名推薦され、両議案とも満場一致の「異議なし!」の声と共に可決承認された。



続いて委員長タイムが行われ、担当の木嶋総務・広報委員長は「がん」の話題から各種医療の種類や現状、保険の



## 2月例会を終えて



会員の皆様、2月例会にご参加頂き、大変ありがとうございました。当例会では、鳥取県の中小企業が抱える様々な問題から、深刻な労働者不足、離職率について取り上げ、例会を開催しました。第一部では、人材確保、離職率低減で効果のある取り組み事例を紹介しました。経営者と求職者の考え方の相違を理解して頂く為に、架空の企業が行う効果的な取り組みを、会員の皆様には求職者の立場で聞いて頂き、発表を行って頂きました。当初、立場を変えて聞いて頂くことに多少の不安がありましたが、活発な意見を聞くことができ感謝しております。第二部では、県内の雇用状況と県立ハローワークについての説明を行い、鳥取県が抱えている大きな課題の一つである若者の県外流出について、今後、我々若手経済人が行政と連携し取り組んでいかなければならないことを示唆し、例会のまとめとしました。「鳥取県の将来の為、我々、若手経済人は何をしなければならないのか?」と自分の想いをしっかりと伝えることが出来た良い例会になったと思います。例会当日まで尽力して頂いた委員会メンバーの皆様、そして当日、参加して頂いた会員の皆様には感謝いたします。本当にありがとうございました。

政治行政委員会 橋本真和 委員長  
(美保テクノス株 基礎技術事業所長)



## 3月例会に向けて

### 生産性向上委員会 西田裕志委員長

(山陰酸素工業(株) 営業本部 技術部 供給技術グループ メディカルチーム 課長)



10月の担当例会では生産性向上の取組みを行わなければならない背景や基礎知識・目的・意義を学び、IoTの活用、設備強化、人材育成などの手法を活用した生産性向上の導入事例を紹介しました。

今回の3月担当例会ではその手法の中で国や県が推進しているIoTの活用や生産性向上の取組みに係わる補助金の活用に焦点を当てます。第1部で2名の講師をお招きし、IoTの活用ポイントや補助金申請の書き方などより具体的な内容をご講義頂きます。第2部では10月例会時のアンケート結果に基づき講師とのパネルディスカッションを行い会員の生産性向上の取組みをする上での課題解決の一助となることを目的として行います。生産性向上の取組みきっかけ作りから行動に移して頂ける事業を行いますので、皆様ご出席して頂きますようよろしくお願いいたします！！

## LOVE LOVE 中央会 ~中央会をふりかえって~

### 長谷川 貴久 (株)ミトクハーネス 新規事業部長



気付けば同期は既に去り、最古参になっていた。卒会を控えて嬉しいとか寂しいとか、私の心にも人並みの感情が浮かぶが、一番大きな気持ちは「何を会に残せたか？」である。

正直に言って、目立ったモノは特に残せていない。別に怠けていたと云う訳ではない。

自分の居場所が常にカメラを覗く側に在っただけの事だ。普通ファインダーを覗く人の姿は、記録に残らないから仕方がない。

38期広報の委員長を務めた時、「記録を残せ」と皆様に申し上げた。周年記念の冊子やVTR作りに役立つのは言うに及ばず、卒会時の良い思い出になるから、と。

実はもう一つ意味がある。在籍中に御世話になった先輩やOB、極稀に同期会員にも起こる事・・・葬祭関連である。

大変お世話になったOB会員が急逝し、有志が故人を偲ぶ会を開く折、追悼映像の作成を依頼された。県会長を務めた方なので、事務局に写真も動画も少しが残っていた。

だがそれだけでは彼の笑顔が足りなかった。幸い手元のPC内に海外研修を含む、同じ時間を過ごした時の写真や動画が百数十GBのデータとして残っていた。泣きながら映像を作ったのを覚えている。

過ごした時間の長短に関わらず、出会いは「一期一会」だ。明日にはその笑顔に会えない事もある。記録を残す事を努め忘れる事なかれ。

## 第3回お地蔵さまプロジェクト、各グループ、リーダー抱負

### グループA広報関係 リーダー 中村 友紀 (株)サンイントウエイ 代表取締役

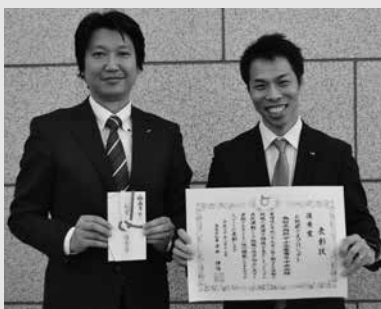
昨年より引続きお地蔵さまプロジェクト広報担当として、一人でも多くの方へご周知とご来場をしてもらう為に委員会を始めグループの皆と知恵を出し合い頑張っています。広報はプロジェクトの中で最初にスタートする活動なので、プロジェクト全体がいいスタートをできるように緊張感を持って積極的な活動をしていきたいと思います。広報活動を毎年ただ継続するのではなく、基盤を固めつつ新しい方法を積極的にチャレンジして事業を繰り返す度に知名度、ご来場数が増えていってほしいと思います。今回はプロジェクトの内容も多くなっておりチラシやポスターでは伝えきれないところもあるので、配布だけでなく地道な訪問活動や説明なども行っていきたいと思います。



### グループDにぎわい関係 リーダー 道田 直樹 (株)ビルト・ミチダ 専務取締役

グループDでは昨年のフェスティバルでも好評をいただきました「流しそば」と、当日のメイン会場で開催される「縁日」の企画・運営を担当します。会員による手作りの竹製流し台の長さは約50m！大山寺参道の斜面に合わせてそばを流します。縁日は、子供たちが楽しめるはもちろんのこと大人の方々も楽しめる、そんな内容を企画しています。

フェスティバルを盛り上げる重要なポジションとなりますが、まずは運営する私たちが楽しみ、盛り上がり、しっかりと準備をしていくことが大切だと考えています。来場された方々に笑顔で帰っていただけるように進めていますので、当日はぜひ家族、友達をお誘いのうえ足をお運びください。よろしくお願いいたします！



## 平成29年度 トットリズム活動表彰 優秀賞受賞

2月17日(土)とりぎん文化会館にて、地域づくりに関するイベント「とっとり元気フェス2018」が開催されました。その中の催しのひとつに県内において地域づくり活動を積極的に行っている個人や団体を表彰する「平成29年度トットリズム活動表彰 優秀事業」に34件の応募の中から7事業が決定し【お地蔵さまプロジェクト】が優秀賞に選出されました。

表彰式では高井県出向理事・堀尾委員長が出席して壇上で平井鳥取県知事から表彰状と賞金を授与されました。受賞理由として大山開山1300年を目前に大山寺の地蔵信仰をテーマに地域の子どもたちと一緒に地蔵さま清掃などに取り組んだことが評価されました。

5月に開催される第3回大山お地蔵さまフェスティバルの錦上に花を添えるべく、成功に向けて今後の活動に弾みのつく受賞となりました。(記事:渡邊)

# 響け中央会

第43期会長 三輪龍介

2月の臨時総会では、第44期の会長ならびに県会長候補の承認を頂き、誠にありがとうございました。第43期も皆様のおかげでここまでやってきましたが、次へのバトンを渡せたことに感謝の気持ちで一杯です。

早いもので、私が承認頂いた臨時総会からもう1年が経ちました。あの時皆様から頂いた、会場内に響き渡る「異議なし!」の大きな声は、得も言われぬ重圧で否応なく身が引き締まるのと同時に、とても有り難い声援として今も私の中で響いています。

そしてこの度の「異議なし!」は、私にとっては1年前とは違った響きを持つもので、ただただ感謝あるのみです。

43期も残り4か月となり終盤戦に入っていきますが、しっかりと44期に繋げられるように活動していきましょう!

# 中央会交響曲

監事 廣谷 栄一

単車が好きだ。二十歳から乗り出して今日までの25年間、手元に単車がなかったことは無い。私の日常に起きた総ての喜怒哀楽をいつも傍にいて見守ってくれている。単車は他の原動機付の乗り物と違い、夏は暑く冬は寒い。雨が降れば濡れるし、音楽も聴けない。信号で止まっているときは私が支えていなければ倒れてしまう。なんとも欠陥だらけの乗り物である。だがそれがいい。お互い不完全な存在だからこそ、乗り手と単車が手を取り合って補完しあう関係である。それがよい。単車に乗っているとき、私は無になれる、自由でいられる。これからも単車の鼓動と排気音の響きに酔いしれ、春夏秋冬の匂いを身体全体で感じながら共に駆け抜けていきたいと切に思う。

## Motto 教えて

石原 竜 (有青空オート 工場長)

今回、改めて自己紹介をさせて頂く機会をいただきました。この機会に私は、子供の名前について、なかなか文字に残すことがないので、書かせて頂きたいと思えます。

中央会に入会して今年で5年目になろうとしております。私は中央会に入会し、翌年に結婚し、一昨年に父親になりました。子供も大きな病気もすることなく、元気に成長して、1歳7か月になりました。子供の成長は本当に素晴らしいですね。日々、仕事で疲れて帰っても子供の顔をみると、疲れも吹き飛んでしまうほどです。お子様がいらっしゃる会員の皆様も同じ

ように感じておられると思います。

親が子供への一番初めての贈り物は、「名前」です。子供は「杏菜(ももか)」といいます。生まれるまでの間に妻と共に、まだ見ぬ子供の顔を想像しながら考えるのは本当に幸せな時間だったと、今は改めて感じています。

「杏(あんず)」はたくさんの実を实らせます。「菜(しおり)」は方向を見失わないようにと目印の意味があります。この2つの意味を合わせて、沢山の実りある人生になり、自分で決めた目標や人生をしっかり見極めて方向を見失わないように歩んでほしいと願って「杏菜」と名前を付けました。

これから、中央会で様々な事を学んでいくと思います。その中で、皆様と共に自分自身が成長し、また父親としても成長できるように頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。



## 燃えよ龍 我が社の経営力

岡田 英憲 (株)ライトスタッフ 取締役

「チーム力で課題解決!」私が所属する株式会社ライトスタッフは、個性豊かなメンバーが揃う広告代理店です。社員それぞれの強みをいかしながら、広告という業務を通じてお客様の販売促進に結果を残すことで、地域に貢献したいと考えております。

弊社は、米子市両三柳に事務所を構えており、チラシやパンフレットなど紙媒体の制作・印刷やWEBサイト制作、イベント事業、インターネットを使ったマーケティングなど幅広い業務に日々携わっております。

中でも、主軸となっているのが通販事業の販売促進とイベントの企画・運営です。通販事業につきまちは、新規顧客の開拓から既存顧客の満足度アップまで一貫したプロモーションをご提案しており、これから通販を始めたいという方だけでなく、売り上げが伸びなくて困っているという方からもご相談をいただいております。

また、イベント運営は年間を通じて実施しており、自社内のノウハウを生かしながら企画立案はもとより、制作、会場設営、当日の運営、撤収まで、実効性の高いイベントとなるよう取り組んでおります。

お客様の目標や課題などを伺い、その気持ちに寄り添いつつ、目標達成に向けて常に全力疾走で取り組んでまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



### 3月役員会報告

平成30年3月1日(木)米子市公会堂集会室1にて開催されました。

当日の主な内容は以下のとおりです。

- ・2月例会開催報告の件
- ・3月例会開催の件
- ・4月例会開催の件

詳細については各委員長にご確認ください。

### 3月例会案内

と き:平成30年3月15日(木) 19:00~21:00

と ころ:スマイルホテル米子

内 容:第1部 講演

①「AI、IoTを活用した生産性向上の取組について」

講師 株式会社ケイズ 執行役員 神庭 公祐 氏

②「生産性向上における補助金・助成金の活用について」

講師 公益財団法人 鳥取県産業振興機構

新事業推進部 次世代産業グループ

コーディネーター 小坪 一之 氏

第2部 パネルディスカッション

(中小企業に必要な生産性向上について)

担 当:第43期 生産性向上委員会

### 編集後記

2月例会の人材確保の手法はとても勉強になりました。特に私が勤務しているサービス業では人材確保はとても重要な課題となっているので、例会のカメラ担当でしたが写真撮るのを一時忘れるほど集中して聞き入った例会でした。

(総務・広報委員会 福島 利幸)